

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月1日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年7月4日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年9月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～2 月初旬 2 学期: 4 月中旬～6 月初旬 3 学期:     ～ 4 学期:     ～
学生数	約 3 万人
創立年	1905

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため授業料の負担はなし
宿舍費	£7879	約 142 万円	
食費	£5000	約 100 万円	
図書費	0	0円	特に買う必要はなかった
学用品費	0	0円	特に買う必要はなかった
携帯・インターネット費	£15×10 months	30000円	
現地交通費	0	0円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£5000	約 100 万円	旅行費
被服費	£500	約 10 万円	
医療費	£450	88723円	NHS 保険料
保険費	£5000	102635円	形態:東京海上日動海外旅行保険(10ヶ月分)
渡航旅費	£3000	約 60 万円	日本-イギリス間往復
ビザ申請費	£348	約 7 万円	
雑費	£1000	約 20 万円	洗濯費、日用品など
その他		円	
その他		円	
合計	£25327	5065400円	

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:マンチェスター空港 経由地:ロンドン・ヒースロー空港

復路 出発地:ロンドン・ヒースロー空港 目的地:羽田空港 経由地:北京空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:ANA 料金:約 30 万

復路 航空会社:中国航空+ANA 料金:約 30 万円 ∴合計:約 60 万円

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名: )

インターネット(サイト名: )

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前: Allen Court)  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 6 人)

3) 共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学のホームページ

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Allen Court はキャンパスが徒歩圏内にあるので通学は近くて便利です。また、比較的新しく大学の寮ということで管理がきちんに行われているため施設にはとても満足しています。施設やロケーションが良い分寮費は高いですが、お風呂やキッチンでの不具合や住人トラブルなども含めて不便なことがあっても報告すればすぐに対応してくれたので生活しやすかったです。(火災報知器が起動しやすく何回も鳴るアラームはストレスでした。)

寮にいる学生は半年か一年留学の学生が多かった印象です。実際、私のフラットメイトは中国人、韓国人、サウジアラビア人と、アジア人留学生が多いフラットでした。(他のフラットにはアジア人だけではなく、ヨーロッパや他の地域からの寮生もたくさんいました。)寮の common room というスペースではゲームができたイベントが行われていたりして、他の寮生とも交流ができるのでそれを通して仲良くなった友達も何人かいます。イギリス人の現地学生は End Cliff という丘の上にあって自然が多いエリアの寮やアパートに住む人が多いようで、City Centre から離れているので通学は少し不便かも知れませんが、現地生との交流を増やしたい人は End Cliff を検討してもいいかも知れません。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: NHS)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 現地の友人、保険の相談窓口)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外食やパブでお酒を飲む時などは常に自分の食べ物やドリンク、所持品から目を離さないようにしていました。シェフィールドで犯罪があった話は経験したことも聞いたこともないですが、ヨーロッパ諸国へ旅行する際のスリには特に注意した方がいいです。私はローマの地下鉄でカバンを半分くらい開けられて危なかったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮とキャンパスのWi-Fiはどちらも接続がよかったですと思います。現地で買ったSIMはたまに接続が良くない時があったので、日本でヨーロッパSIMを買って持っていくと便利かもしれません。(ヨーロッパ旅行に行こうとしている人は特に)

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

もともと日本で使っていた銀行口座に親に毎月入金してもらって、その口座にクレジットカードをつないで使っていました。クレジットカードは主にライフカードを使っていて、途中から支払い手数料がかからないWiseに切り替えて使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本の商品にかなうものはイギリスにはないと言っても過言ではありませんので、自分が日常的に使っているものは余裕があるだけ持っていった方がいいと思います。私が持って行ってよかったものは、クレクラブ、鶏がらスープ、コンソメ、洗顔料、干し芋、お餅などです。アジアスーパーがあるので、調味料や日本のお菓子など基本的なものはなんでも揃いますが、3倍くらいの値段がします。シャンプー、ボディソープは現地のもので全然大丈夫ですが、洗顔料はなかなか代わりになるものがなかったので持っていくことをお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Language and Culture (News Media)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	1年
単位数	10 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面クラス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Nicholas
授業内容	イギリスのニュースメディア、主に新聞紙について
試験・課題等	各週の宿題、期末のプレゼンテーションとレポート
感想を自由記入	この授業を取らなければ知れなかったイギリスのメディアについて学習できて面白かったですが、期末課題が重くてつらかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Understanding University Culture through Language	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面クラス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Maria
授業内容	イギリス国内の大学の制度やそれぞれの特徴について
試験・課題等	各週の宿題、期末課題のプレゼンテーション及びレポート
感想を自由記入	こちらもこの授業を取らなければ知らなかった内容があったので面白かったです。Maria先生はとて素晴らしい先生ですが、評価が少し厳しめでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Academic Purposes (Reading and Writing)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面クラス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Jemima Perry
授業内容	主に英語でのライティングの仕方を学ぶ。
試験・課題等	中間、期末のレポート課題
感想を自由記入	特別ライティングを伸ばしたい場合は取ってもいいと思いますが、日本で学ぶことと内容はあまり変わらないです。ほとんど課題でレポートを書かされて終わりのような感じでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Academic Purposes (Speaking and Listening)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面クラス (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Nicholas
授業内容	スピーキングが中心で、クラスメイトと会話をしたりディスカッションをしたりします。
試験・課題等	グループディスカッション及びプレゼンテーション
感想を自由記入	英語で会話をする機会が増えるので良いと思いますが、ディスカッションで使えるフレーズを覚えたり練習したりするのに時間を取ったり、プレゼンテーションの前は授業が作業時間になったりするので、もっと会話の時間があつたらありがたかったなと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English as a Foreign Language (Upper-Intermediate 2)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Jemima
授業内容	イギリスの社会や文化について主に学びます。
試験・課題等	各週の宿題、レポート、グループディスカッション
感想を自由記入	イギリスについての知識をいちばん多く得たのはこの授業でした。授業形態はアクティブラーニングが多く、英会話がもっとあってもよかったと思いますが、週2回でクラスメイトと仲良くなれるのでよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English as a Foreign Language (Upper-intermediate 1)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Jemima Perry
授業内容	イギリスの社会や文化について主に学びます。
試験・課題等	各週の宿題、レポート、グループディスカッション
感想を自由記入	イギリスについての知識をいちばん多く得たのはこの授業でした。授業形態はアクティブラーニングが多く、英会話がもっとあってもよかったと思いますが、週2回でクラスメイトと仲良くなれるのでよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Management Themes and Perspectives	
科目設置学部・研究科	Business Management
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	週によって変わる
授業内容	Business Managementの学ぶ上での基礎的な知識をテーマ別に分けて学ぶ
試験・課題等	各週の宿題及び小テスト、レポート
感想を自由記入	一学期分の授業が4つのテーマに分けられ、さまざまな視点から Business Managementについて考えるので分かりやすく、この分野は初めて学ぶには適している授業だと思います。セミナーではグループで一つの課題について話し合っ発表をするので、英語の勉強にもなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Career Management Theory and Practice	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Lora
授業内容	キャリアにおけるセオリーを学びながら、レポート制作を通して自分の将来のキャリアについて考える
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	学び自分の将来のキャリアを改めて考えるいいきっかけになりました。授業がオンライン課題のみに変更になったり、時間よりも早く終わらせてくれることが多く気楽に受けることができましたが、中国人学生が8割くらいいて疎外感を感じました。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学説明会、協定留学応募開始
	10月～12月	協定留学学内試験面接、IELTS受験
留学開始年	1月～3月	合格者オリエンテーション、IELTS受験、事前学習会
	4月～7月	出願、滞在先確保、ビザ申請、航空券購入
	8月～9月	渡航、オリエンテーションウィーク
	10月～12月	授業開始、11月 midterm、12月 final
留学/帰国年	1月～3月	1月 final、2月から冬休み
	4月～7月	授業、final、夏休み、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私はヨーロッパに行ったことがなかったのと、イギリス英語が好きという理由で留学先の国はイギリスにすると決めていて、協定校の中で最も選考基準が高かったシェフィールド大学を選びました。私の憧れのイギリス英語に浸ることができましたし、ヨーロッパを旅行してたくさん場所や人々や文化に出会うことができ、現地大学も留学生へのサポートが充実していたので、イギリスを選択したことにも、シェフィールド大学を選択したことにも後悔はありません。私はイギリスでの生活を経て、日本は歴史的要因からアメリカの影響を強く受けているため、海外に目を向ける上で、無意識のうちにアメリカ基準で物事を見ていることに気づかされました。必ずしもイギリスではなくても、ヨーロッパに留学し、今まで経験したことのない文化や価値観に触れることで気づくことや得ることのできる知見がたくさんあるので、ぜひヨーロッパでの留学をおすすめしたいです。

私がアドバイスしたいことは、絶対に何かしらのコミュニティに入るということです。フラットメイトと仲良くなって多くの時間を過ごす、Societyに参加する、留学生コミュニティに入る、バイトをするなど、必然的に人と会い会話をする環境に身を置くことが本当に重要です。イベントなどをきっかけに友達はできても、関わる部分が少ないと関係が希薄になってしまったり、関係を続けることに疲れてしまうこともあったり、授業が講義形式の場合は他の学生と接触する機会が少ないので友だちになるきっかけを作るのが難しい場合もあります。なるべく頻繁に同じ人々に会って、できるだけ多くテンプレではない会話をするので、深い人間関係を築くことができる上に、英語力の向上にもつながると思います。

また、日本語と日本人を遮断しすぎないことも大事です。留学する前私は、英語しか使わない、イギリス人に囲まれた留学生生活をイメージしていたので、実際現地大学にいる日本人と留学生の多さと、イギリス人の少なさにショックを受けました。渡英して初めの方は日本人と関わる必要はないなるべく避けていて、だからこそできた外国人の友達も多いですが、その分失った出会いの機会もありました。やはりどれだけ英語が話せても、母国語に変わるものはないので、留学中困った時に自分の気持ち言葉にして助け合える存在をひとりでも作ると、良い精神状態で留学生活を楽しむことができると思います。日本語を話しすぎでは意味がないですが、偏見や強いこだわりは捨ててチャンスはできるだけ多く掴み、充実した留学生活にしてほしいです。